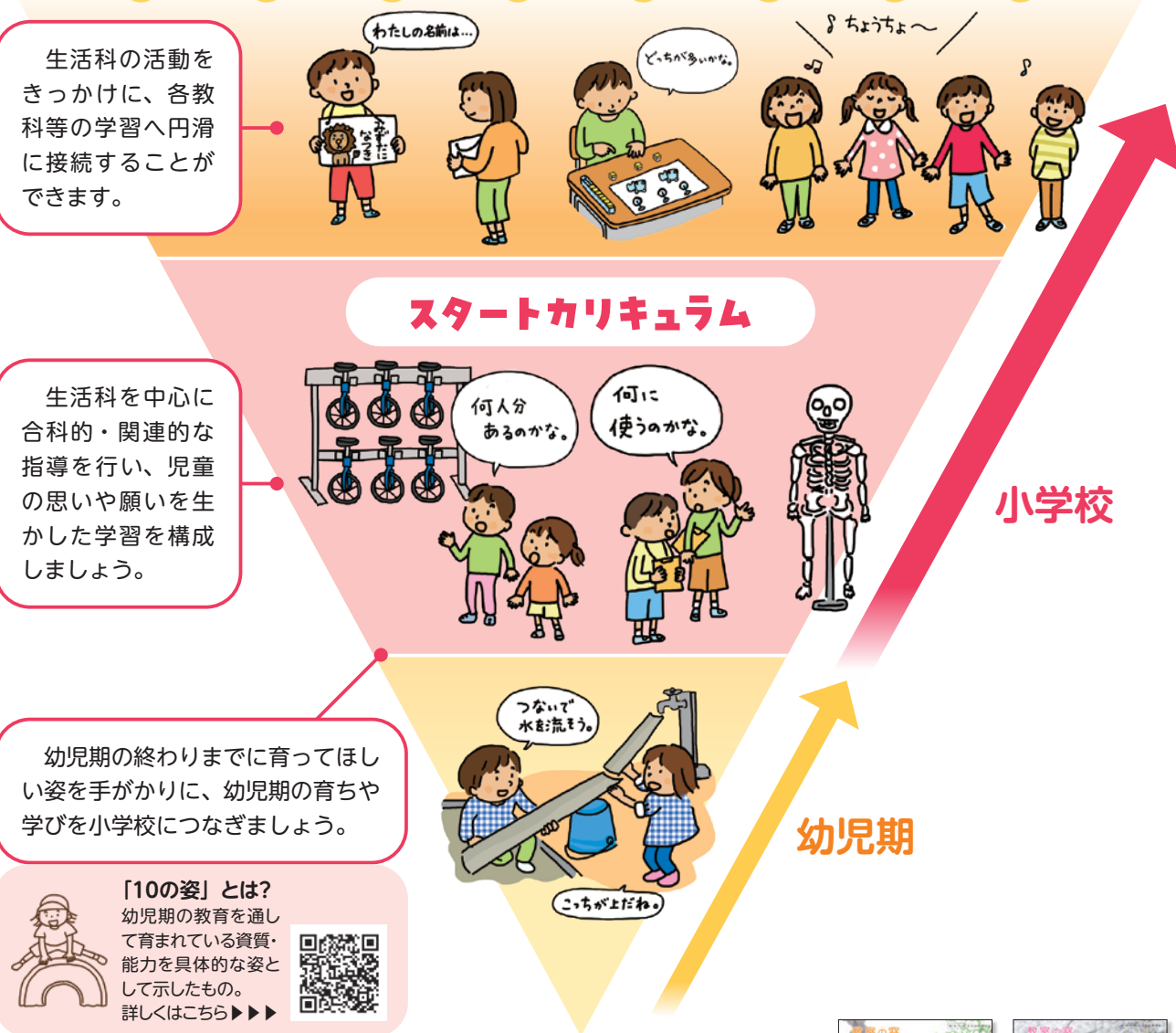


Q スタートカリキュラムとはなんですか？

A 幼児期の教育と、小学校教育を円滑に接続するために、小学校の入学当初に編成されるカリキュラムのことです。幼児期の教育で育まれた資質・能力を生かし、小学校以降の学びをより確かなものにしていくことができます。

また、5歳児から小学校1年生までの2年間の「架け橋期」は、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくるために非常に重要な時期とされています。この「架け橋期」のカリキュラムの実効性を高めるためにも、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続において重要な役割を担うスタートカリキュラムの充実を図ることが求められています。

国語 算数 生活 音楽 図工 体育 道徳 特活



スタートカリキュラムや「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」のことをもっと知りたい方は、弊社発行情報誌「教室の窓 低学年版」や、弊社Webページも併せてご覧ください。

<https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/kikanshi/>



東書の機関誌



内容解説資料

東京書籍の

スタートカリキュラム



教科をつなぎ
架け橋期の学びを
支える

この資料は、令和6年度小学校教科書の内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。



いきいきと学びに向かう スタートカリキュラム



上の階には何があるかな。

総合的・関連的な指導や弾力的な時間割の工夫で、「いきいきと学びに向かう」スタートカリキュラムを目指しましょう。



田村 学先生

生活

各教科をつなぎ、いきいきと学びに向かう児童を育みます

▼国語 | 年上 p.8-9



国語

▼道徳 | 年上 p.10-11



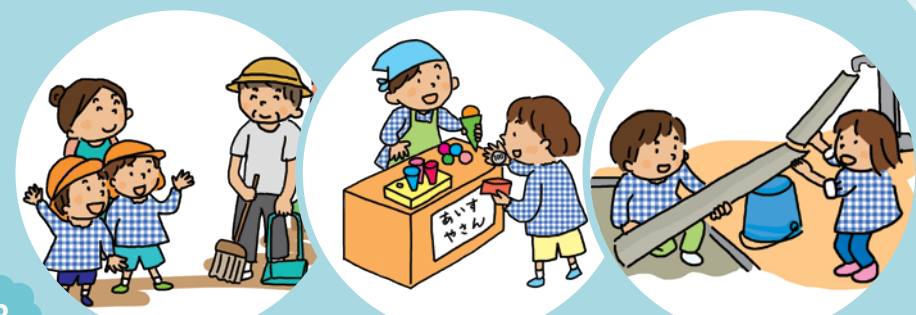
道徳

音楽



生活

幼児期の育ち



「新編 あたらしい せいかつ」では、すべての学校で適切にスタートカリキュラムが編成できるよう、児童の意識の流れを大切に学習活動を生活科の内容で構成しました。また、合科的・関連的な指導例を掲載し、円滑に各教科等の学習に接続できるよう、配慮しました。



▲生活上 p.12-13

生活 「つながるひろがる」

学校探検を中心とした生活科の主体的な活動の中にある、各教科等への「学びの芽」の例をまとめました。

児童が各教科の学習のイメージをもつことで、円滑に接続できるようにしています。

また、先生方にとっても、各学校のスタートカリキュラムを作成する際、参考にすることができます。

書写

▼書写 | 年上 p.4-5



図工



自分で考え、行動する学びのプロセスをくり返す

算数

▲算数 | 年上 p.4-5

架け橋期の学びを支える豊富な教材

学校探検



▲生活上 p.21



▲書写 | 年上 表紙裏



▲道徳 | 年上 p.18-19



▲国語 | 年上 p.32-33

自ら学びに向かう児童へ

入学当初のスタートカリキュラムだけでなく、架け橋期においては各教科等と関連を図ることができる学習材の選定にも配慮しました。生活科の学習の本質である、「具体的な活動や体験を通す」ことから各教科の学びにつなげることで、児童の主体的な学びを促します。

道徳



▲道徳 | 年上 p.38-39

生活



▲生活上 p.108

道徳



▲道徳 | 年上 p.104

算数



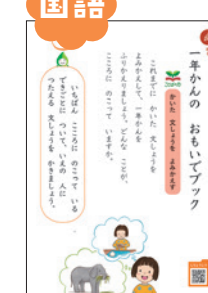
▲算数 | 年上 p.91

生活



▲生活上 p.36

国語



▲国語 | 年下 p.140

栽培

自分の成長

国語 書写

児童の経験や関心を、言葉や文字の学びにつなぎます

国語

児童のこれまでの経験と、「やってみたい!」「できるようになりたい!」といった思いや願いに寄り添った安心感と成長へのわくわく感にあふれる4月教材を構成しました。

最初の教材で幼児期の体験を受け止める!

初めて開く国語の教科書。表紙をめくると、同じ画家の描いた絵から教材が始まります。幼児期に親しんできた「絵本」に似たつくりで子どもたちを迎えます。

子どもたちが幼児期に体験してきた手遊びを取り入れ、体を動かしたり、リズムを口ずさんだりして学習を始めます。



表紙と同じ子たちがいる! 青い鳥さんもいっしょだね。



教科書の表紙をめくると...

学校生活につながる言葉の学びを楽しく!

短い時間を活用して取り組みやすいシンプルな活動!



よろしくね 関係作りを始める言葉

「名前を教えて。」「私も電車が好きだよ。」自分のことを知ってもらったり、相手のことを知って仲良くなったり。幼児期にも言葉による伝え合いを楽しんできた子どもたちの経験をもとに、小学校でも言葉を通じて新たな関係を築いていきます。



なんていのかな コミュニケーションを図る言葉

「おはよう。」や「いただきます。」といった生活リズムに関わる言葉や、「貸してもらったら、『ありがとう。』って言うんだよね。」といった人との関わりを豊かにするための言葉を身につけてきた子どもたち。絵の中の場面を想像しながら、コミュニケーションが豊かになる言葉を増やします。

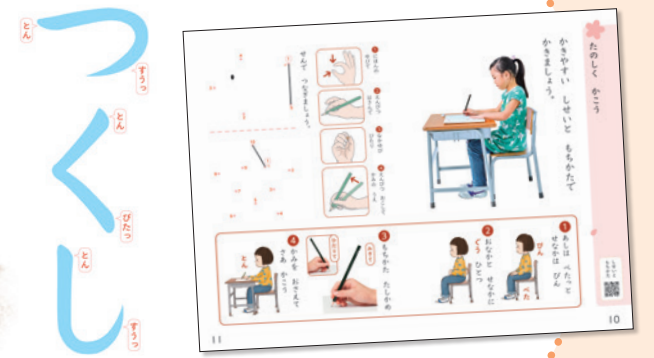
言葉遊び・動作化



読書・図書館活用



文字の習得・書きやすい姿勢と持ち方



書写

遊びや生活の中で文字に触れてきた幼児期の体験をふまえて、全教科の学習基盤である「正しく整った文字を書く」力を育みます。

一年間のスタートに、学校で目にする文字に注目するイラストを掲載しました。一人一人の中にある、文字への興味や書きたい思いを引き出します。



▲1年表紙裏



◀1年 p.4-5

文字を書く姿勢や筆記具の持ち方を丁寧に扱っています。左利きの持ち方についても取り上げ、全ての児童が円滑に「書く」学習をスタートできるよう配慮しました。



◀1年 p.6-7

整った文字を書くにはさまざまな線を自在に書ける力が重要です。平仮名の学習に入る前に、遊びの要素を取り入れて楽しく学べます。

算数

幼児期に育った数や量への関心、感覚を引き出します

算数科の学習で育む資質・能力は、幼児期の遊びや生活の中で育ちます。これらを引き出し、発揮させることが、算数科でより効果的に資質・能力を育むことにつながります。

学びがつながる

1年①は、令和6年度からA4判です。幼児期に数や量に着目した経験を想起させながら、幼児期の学びと算数科の学びを円滑につなぎます。

拾ったどんぐりの数をくらべる。

くらべたことがあるかな



積み木の高さをくらべる。



ハンカチの大きさをくらべる。



さつまいもの長さをくらべる。



ジュースの量をくらべる。



▲1年①p.1

おいしいのはどちらかな



▲1年①p.2

1年生では、この後も幼児期に育った資質・能力をさらに成長させていきます。

道徳

幼児期に育んだ自分らしさをのびのびと発揮する

1年生の第1～6教材までを、入門期「どうとくスタート」に位置付けました。初めて経験する道徳科の授業を、すべての児童が楽しめるよう、具体的な学習活動を取り入れた教材や、絵や写真を中心とした教材で構成されています。



個性の伸長

最初の授業は、「個性の伸長」から始まります。自分の好きなことを話し、聞き合う学習活動を通して、安心して自己を発揮できる学級をつくります。



1 わたしの好きなこと

はじめに みんなにきいてほしいな。

▲1年 p.10-11

絵本の紹介

授業時間の弾力的な運用も見据え、読み聞かせに活用できる絵本を紹介しています。

円座での対話

先生や友達の顔が見え、安心して取り組める、円座での対話活動を例示しています。